

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみんかる		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 1日		2025年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44 (兄弟を含む)	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年 7月 1日		2025年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 7月 1日		2025年 8月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 24
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当社の放課後等デイサービスでは、「保育所等訪問」を通じて、学校で見つかった課題(学習、生活、対人交流)を解決するための方法を考えています。 具体的には、必要な訓練や環境調整を実施し、その方法を学校や家庭に伝えることに力を入れています。	放課後等デイサービスでは、児童ができるようになったことをサービス担当者会議を通して、学校と共有しています。また、学校でうまくいっている方法や取り組みをデイサービスに取り入れ、児童に必要なサポートを途切れなく提供できるよう努めています。	現在、保育所等訪問のご依頼を多数頂いているため、現在の体制が維持できるように、保育所等訪問支援員の増員・育成に注力していきます。
2	家庭や学校で出た課題に対する相談や、一緒に解決策を考えていく支援体制を作っていること。	モニタリングや支援会議を通して、お子様の課題やサポートの優先順位を明確にし、支援に反映しています。 また、定期的モニタリングにて、経過報告や今後の方針の見直しに努めています。	今後は、家族同士が交流できる「家族交流会」などの開催を検討し、家族様に対するサポート体制の強化を図っていきます。
3	職員の資質向上を目的に、積極的に外部研修に参加しています。外部研修を通して、児童福祉に関する知識や実践的なスキルを学び、保育所等訪問支援に活かしていること	管理職が、近隣やWebで行われる外部研修情報を定期的に確認し、スタッフのスキルアップに繋がる研修があれば、スタッフに情報提供するように心掛けています。また、研修参加の希望があれば、積極的に研修に参加して貰えるように、応援する体制を整えています。	今後は、研修に参加したスタッフが学んできたことを支援員の教育に用いて、支援員の全体のスキルアップに繋げていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校と目標設定や介入方針のすり合わせのタイミングが定まっていない。	保育所等訪問は、学校がある時間に、訪問する性質上授業前後に、先生方と目標設定や介入方針のすり合わせを行う時間の確保が難しかったことが要因	授業前後に、先生方とすり合わせを行うのが難しいため、支援計画書が出来上がり次第提供していき、早期に目標を共有できるように改善していきます。 また、訪問させて頂いた記録を、次の訪問の際に提供するなど小まめなやり取りを心掛けていきます。
2	保護者同士の交流の機会が少ないこと。	訪問という性質上、個別課題が多数を占めると想定していたが、家族間交流を望まれる家族が、想定よりも多かったことが要因。	個別相談による家族支援に加えて、今後は家族同士が交流できる「家族交流会」などの家族支援の開催を検討します。
3	学校訪問時の事故や非常災害への対応方法について保護者への周知が不十分だったこと。	契約時に、各学校様の事故・災害時の対応に準じて、対応させて頂くことをお伝えしていましたが、保護者に十分な理解が得られていなかったことが原因だと考えられます。	契約時の口頭説明だけでなく、災害対策の訓練などの情報をアップし、周知を図る。 保護者に分かりやすいように、災害等の対応方法の文章を作成し、周知を図っていきます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスみんかる

公表日 2025 年 10 月 31日

2025年8月31日：利用児童53名

利用児童数 (兄弟を含む)

回収数 30

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	26	4				
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	30					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	28	2				
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	30					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	26	4				
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	2			子供の特性をとても良くわかって、 関わってくれている。	保育所等訪問開始前の面談で、お子様の性格や特性現在の課題や強みを情報収集し、プランに反映しています。さらに期待に応えられるように工夫してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30				・事前に打ち合わせがきめ細やか ・学校訪問後の様子も、丁寧に教えてくれている。	聞き取り内容を工夫して効果的な介入に繋げていけるようにアップグレードしていきます
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	30				担任や支援の先生の意見を聞いて 対応を工夫してくれている	学校の先生と、事前、または初回訪問の際に、支援計画のすり合わせを行わせて頂いております。今後は、学校様と連携して、プランに盛り込む枠組みがさらに増やしていきたいと考えています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	2				
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1				
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	30					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	4				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	8	22			・家族同士で情報交換できる場が欲しい。 ・私の子供に対する関わり方を学べる場が欲しい	保護者様より、他の家族様と交流したいというお声を沢山頂いています。専門家からの意見だけでなく、同じ境遇の家族様同士だからこそできるアドバイスや工夫を知る機会は、事業所としても必要だと感じています。来年度を目処に、家族様同士の交流会を検討しています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	25	5				

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	2			・相談すれば、親身に相談に乗ってくれる	もっと気軽に相談できる方法を検討しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	10			・相談したいことがたくさんあるので、もっと頻度を増やしてほしい ・相談後のレスポンスが少し遅い	相談頂く件数が多く、少しお待たせすることがあります。迅速な対応ができるように、保育所等訪問支援員の増員を検討しています。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	28	2				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	30					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	25	5			・電子連絡帳で、その日のうちに訪問の様子を教えてくれる。	今後も、即日ご様子をお伝えしていく方法を継続していきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	21			。取り組みを会報やSNSで、もっと発信してほしい ・放デイ利用時のように、学校訪問の際も様子を写真で送ってほしい。	・ご指摘頂いている通り、SNSを含む発信は、事業所の課題です。放デイを含め、ご希望が多い項目ですので、情報発信を強化できるように、企画を進めています。 ・学校でのお子様の様子を知りたいという気持ちは、とても良く分かります。ただ、個人情報保護の観点から撮影が認められないことがあります。学校様と相談して、方法を検討していきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	20	4		6	・学校とどこまで、話し合われているかが分からない。	
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	4		6		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	29	1			・訪問してくれるのを楽しみにしています。	今後も、お子様が訪問を楽しみにしてくれるように関わり方を工夫させて頂きます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	27	3				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年 10月 31日

放課後等デイサービスみんがる

利用児童数

53名(兄弟1組を含む) : 訪問施設 : 40校 2025年9月30日 回収数 : 24校

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	24			<ul style="list-style-type: none"> 訪問で取り組んでくれていることを学校に伝達してもらうことで、学校の支援に取り入れることができた 関わり方で生徒が変わることが実感できた。 どう関わってあげたら良いか悩んでいた生徒への関わり方がわかった。 	現在は、支援内容をバロバや文章にまとめて提供する機会を増やしています。今後も、より分かりやすい伝達方法を模索していきます
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	24			<ul style="list-style-type: none"> 教員にはない視点で、支援員さんから提案を貰えるので助かっています。 教員とは、違った視点で、生徒のことを見てくれるので、違った形の関わり方を知ることができた。 	支援員自身も、先生方の関わりから学ぶことが多かった。個人的には、一方的な助言ではなく、現場の先生方の意見を取り入れて協業でお子様を支援する体制作りが重要だと感じました。今後も、支援に必要な知識や技術を磨いていきます
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	20	4		<ul style="list-style-type: none"> 学校側が忙しいことが多く、十分に質問やフィードバックを受ける時間が取れなかった。 もっと相談できる時間が欲しい。 日々の支援記録がほしい 担当者会議を開いてほしい 	保育所等訪問の課題として、授業中に何うため、先生方に時間を取って頂けるのが、休憩時間になることが多い。そのため、その日に十分な話をすることが難しいのが現状です。ご要望が多いため、支援内容の記録の提供や別紙資料の提供を開始しています。今後も、定期的にカンファレンスを組むなど伝達方法を工夫していきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	19	5		<ul style="list-style-type: none"> 自閉症の生徒が、コミュニケーションを取ることを増えた。 学習の前段階で苦労していることがよく分かりました。 説明はよく分かるが、支援方法が少し抽象的で、具体的にどう関われば良いか分からない時がある。 	先生方からのご意見を頂き、お子様の特性や置かれている環境によって、課題解消の難易度は大きく違ってきます。環境調整等で、すぐに結果に出るものと、数ヶ月～年単位で、じっくりと関わっていくものがある点をもう少し時間を取って、丁寧にお伝えする必要があったと考えました。
5	事業所からの支援に満足していますか。	21	3		<ul style="list-style-type: none"> 早い段階で、目標や支援方法を共有してほしい。 生活面・学習面で、色々な課題を抱えていた生徒が、少しずつ自分で取り組めることが増え、成長を感じる。 訪問にいつまで来てもらえるのか知りたい。 	訪問時に、介入目標や方法をお伝えするように心掛けていますが、短い時間に説明するだけでは、十分に伝わらないと感じました。現在は、計画書の提供以外の伝達方法も模索していきます。

その他のご意見

ご意見を踏まえた対応

①保護者様へのフィードバックの結果も伝えてほしい。

②訪問後のフィードバックの方法や説明の時間をもっと設けてほしい。

非常に貴重な意見を頂いたと思っています。事業所としては、こまめなフィードバックの提供に加えて、文書や介入の要点をまとめた資料の提供が有効であると考えています。

改善策として、訪問させて頂いた記録の提供の継続、：早期に目標を共有して、教員の皆様と共に経過をモニタリングする方法に改善していきます。

今後、教員の皆様と共同で、学習支援の方法や教材選びなどを検討したり、提供するプログラムを考案したりするコラボを企画していきたいと考えています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスみんか		2025年 10月 31日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4		利用者の特性に合わせた視覚支援 教材や道具を取り揃えている。		
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	現状は、支援員の数その後1～2名増やすと もっと保護者様へのアプローチができると思 う。	今後、支援員を増員していく予定 です。	
業務 改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	4		放課後等デイサービスも併用して 利用して頂いている利用者の場合、 訪問支援員だけでなく、デスタッフ の意見も取り入れて、目標設定と 振り返りを行なっている。	保育所等訪問のみご利用の場合、得られる 情報が限られるため、定期的な担当者会議 等で、学校様や他の事業所様の意見も取り 入れる体制を整えていきます。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者向け評価表による年に1回のアンケート 調査、およびモニタリングの際に、保護者の 以降を伺い、業務改善に繋げている。		
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	4		1ヶ月に1回の定期ミーティングを実施。 また、プラン変更や訪問時に気になった 点があれば、その都度支援員間で共有し、 改善に努めています。		
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	1	3		第三者による外部評価は、今後の課題で ある。まずは、法人内の別部署の職員や 障害をお持ちのお子様の職員の客観的評価 を実施していく予定である。	
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	4		児童発達支援管理者や保育所等訪問支援員 の研究会などに、積極的に職員が参加 している。		
適切 な 支 援 の 提 供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	4		お子様の変化や保護者様からの要望は、 業務日誌に記録し、ニーズや課題を プランに反映して、個別支援計画書 を作成している。		
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		児童発達支援管理者とメイン支援員が、 個別支援計画を立案し、その計画書 をもとに他の支援員からも意見を聞き、 計画書をブラッシュアップして、制作 しています。そのため、支援員が共通 の理解を持ってお子様に関われるよ うに工夫している。		
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		介入前の事前打ち合わせや初回訪問時 に先生との目標のすり合わせ、担当者 会議を通じて、学校様の意向を盛り込む ように工夫している。		
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	4		児童発達支援管理責任者とメイン支援員が、 計画を作成し、各支援員が、支援項目に 沿った関わりや記録を行えるように体制を 整えている。		
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	お子様の日々の行動観察を施設独自の項目 でアセスメントし、毎回記録に残しています。	今後は、フォーマルなアセスメント (知能検査)などを導入予定です。	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	4		保育所等訪問支援のガイドラインに沿って、 利用者の特性や課題、強み、学校環境 などをICFの項目に準じて、多面的な評価 を行い、具体的な支援内容を設定している。		
14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	4		児童発達支援管理責任者とメイン支援員が、 計画を作成し、各支援員が、支援項目に 沿った関わりや記録を行えるように体制を 整えている。			

関係機関や保護者との連携	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		2名以上の支援者で訪問する場合、訪問前に、目的やその日の介入手順、最近の利用者の様子の確認を行ってから支援している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援終了後、または翌日の午前中に、利用者の気になった点や次回の介入の注意点を共有するように心掛けている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		事前に学校の指導計画や禁忌事項を確認し、訪問先の手法を尊重するように心掛けています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		記録はその日のうちに記載することを徹底し、支援の経過の振り返りや改善に生かしている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		利用者の課題の緊急性・重要性・難易度に合わせて、保護者へのモニタリングや学校への聞き取りの頻度を調整し、カンファレンスや面談を開いています。その結果をもとに、見直しを行なっています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		お子様をメインで関わらせて頂いている支援者が、担当者会議に出席できる体制を整えています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		学校との連携を深めるために、保育所等訪問を積極的に行なっています。	医療機関との連携体制は、模索中である。相談支援事業所や他事業所とのやり取りは、サービス担当者会議や文章でのやり取りを通じて、現在、支援体制を構築しています。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	今年立ち上げた事業であるため、就学時の移行はまだ経験してません。	来年度移行、就学するお子様に対して、利用中の保育所や学校に直接情報を問い合わせたり、見学に行ったりする事で相互理解を図れるように努めていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4		児童発達支援管理者や保育所等訪問支援員の研究会などに、積極的に職員が参加している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		4		今後は、協議会等の活動への参加を検討しています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		電子連絡帳を用いて、日々のお子様の発達状況や課題について、その日のうちにやり取りをしている。また、お子様の状況によっては、面談やカンファレンスを通じて、保護者の皆様と共通認識が持てるように心掛けている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	個別面談やカンファレンスを中心とした家族支援を行っている。	保護者の皆様から家族支援を望む声が、多数寄せられており、家族同士の交流の場が必要であると考えています。来年度を目処に、家族様が交流できる場の開設を検討している。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		初回面談や契約時に、説明を行なっています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		訪問前に、事前打ち合わせや初回訪問時に、訪問目的や課題のすり合わせをお伝えするように心掛けています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		初回や更新時の個別支援計画作成の際に、お子様や保護者の皆様の意向を確認し、プランに盛り込み、同意を得ることで、お子様、家族様の利益や意思が尊重されるように、最大限の配慮を心掛けている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		お子様や保護者の二ードを取り入れた個別支援計画書を作成し、支援の要点を要約して説明を行い、保護者に同意を得ている。	

保護者等への説明等	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		定期モニタリングの際に、ご家族の子育てに対する悩みを伺い、一緒に解決方法を考えている。定期モニタリング以外でも、ご相談があれば、日取りを設定し、こまめな面談機会を設けています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		保護者の皆様から当事者家族同士が集まれる場を望む声がたくさん届いています。事業所としても、家族会の必要性を感じています。設立には至っていない。来年度を目処に家族交流会の開催を計画している。
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		お子様や保護者様から相談の申し入れがあった場合、緊急性や相談内容に応じて即日電話、後日面談、サービス担当者を集めて支援会議を開催し、対応させて頂いています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	3	お子様のご様子は、その日のうちに、活動概要や予定は、およそ1ヶ月前に、電子連絡帳を用いて保護者に発信している。	保護者からのアンケートで、HPなどでも活動概要や行事予定を知らせてほしいという要望を頂いています。活動概要の一部をホームページのブログに載せるなど、ご意見を取り入れて、外部への発信手段を整備していています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の記載されているファイルは、鍵付きの棚に厳重に保管しています。電子化している部分は、安全性が確認されている業者のソフトを使用し、個人情報が漏れることのないようにアカウントを厳重に管理しています。また、個人情報の提供（学校や他事業所などから情報提供の要請）の際には、保護者に確認を取り、同意を得てから提供しています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		コミュニケーションや意思疎通が苦手なお子様や保護者様に対しては、その方の理解度に合せて、ジェスチャーや筆談、視覚支援カードなど）を用いて、情報が伝わるように配慮しています。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		学校様から相談の申し入れがあった場合、緊急性や相談内容に応じて、即日電話、訪問日の介入前後で面談、サービス担当者会議を開催しています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		対象児童様の抱えている課題に応じて、訪問前の事前カンファレンス、または介入後3ヶ月以内を目標にカンファレンスを開催しています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		電子連絡帳を用いて、お子様の学校での様子を、その日のうちに、共有しています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の記載されているファイルは、鍵の掛かる棚で保管しています。電子化している部分は、業者のソフトを使用し、個人情報が漏れることのないように厳重に管理しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4		学校様の教育方針を尊重し、信頼関係を築きながら、お子様にあった関わりを提案しています。	

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを作成し、全ての職員がいつでも閲覧、マニュアルに沿った対応ができるように体制を整えています。また、契約の際に、上記の非常時の対応マニュアルがあることを保護者に説明しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	安全管理に関するマニュアルを作成し、不測の事態が起こった時に、マニュアルを見て、対処できる体制を整えています。	年に1度防災等の訓練を計画しています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットが起こった場合を想定し、該当者から管理者に報告、事故報告書の提出、ヒヤリハットの情報共有（業後、もしくは、次の日の業前）に、勤務者全員に情報が行き渡る体制を整えている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止に関する社内研修を定期的実施している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	現在、身体拘束が必要な強度行動障害やその他の行為がある児童様は居られない。 ただ、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかの取り決め（著しい自傷他害など）はあります。取り決めについては、スタッフ間で、共有している。	